

平均入院日数は減少！治療費は増加傾向！

最も大きく変わってきているのが、入院日数の変化です。

平成16年には平均在院日数が28.2日だったものが、令和4年には17.7日と約18年間の間に2/3に減少しています。

一方で、入院時一日あたりの自己負担額は、同じく14,700円だったものが20,700円と、約1.4倍に増加しています。

この数値から、入院日数が減少して行く一方で、一日あたりの入院自己負担額はどんどん上がっていったという傾向がわかります。

平均在院日数・入院時一日あたりの平均自己負担額の推移

| | 平成16年 | 平成19年 | 平成22年 | 平成25年 | 平成28年 | 令和元年 | 令和4年 |
|-----------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 平均入院日数 | 28.2日 | 22.9日 | 21.7日 | 19.7日 | 19.1日 | 15.7日 | 17.7日 |
| 入院時一日あたり平均自己負担額 | 14,700円 | 20,100円 | 16,000円 | 21,000円 | 19,800円 | 23,300円 | 20,700円 |

出典：生命保険文化センター「生活保障に関する調査」

平成19年までの入院時一日あたり平均自己負担額は、高額療養費制度による払い戻し前の金額、平成22年以降は、高額療養費制度を利用した場合は、利用後の金額

これらの状況に合わせて医療保険も選ぶ必要がありますが
大切なのは、ご自身のニーズに合わせて必要な保障を選ぶこと！

ご家族の安心をお守りするお手伝いをさせていただきます。
ご不明な点があれば何なりとお問い合わせください。